

平成29年郡山市議会12月定例会提案理由

(平成29年12月1日)

平成29年郡山市議会12月定例会の提案理由の説明に先立ち、台風第21号の被害について報告申し上げます。

去る10月22日から23日にかけて、本市に接近した台風第21号により活発化した前線の影響で10月19日未明から雨が降り始め、逢瀬町多田野において総雨量241ミリメートルを記録し、阿武隈川の水位は23日午前9時に避難指示判断水位である7.4メートルを越え、午前10時10分には7.59メートルを記録しました。

この大雨により、阿武隈川沿いの地域等における床上・床下浸水や農作物への被害のほか、市内各所において道路冠水等の被害が発生しました。被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

今回の災害に対しては、本年3月に作成した「郡山市タイムライン」に基づき、阿武隈川沿いの地域の皆様へ、運用開始後初となる避難指示等を発令するなど、人命の安全確保を第一に対応を行ったところであります。

今後とも、運用による成果や課題等を踏まえながら本市タイムラインの検証を行い、予想される災害に対する体制づくりに努めてまいります。

それでは、12月定例会の開会にあたり、当面する市政の課題並びに今回提出しました議案の概要について御説明を申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**国の動向**についてであります。去る11月16日に開催された経済財政諮問会議において、「少子化・人口減少への対応や持続可能な社会保障制度の実現のため、地方の行財政運営をさらに効果的・効率的なものにする」とともに、安定的な税財政基盤の確保に向けて改革を加速する」との方針が示されました。また、平成29年度の補正予算も検討されていることから、今後とも、国及び県等の動向を注視し必要な財源の確保を図るとともに、民間資金

の積極的な活用、市行財政における業務カイゼンの更なる推進などにより、効率的かつ安定した市政運営に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**についてであります。

我が国の経済について、内閣府は11月の月例経済報告において、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」として基調判断を据え置いており、日銀福島支店の10月の金融経済概況においても、「県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。」としております。

雇用情勢についても、郡山公共職業安定所管内の9月の有効求人倍率は1.56倍で、「改善の動きが緩やかになっている。」としており、9月末現在における県内の平成30年3月新規高等学校卒業者の就職内定率が、過去26年間で最高の65.4パーセントとなるなど改善がみられております。

今後とも、情報の収集・分析に努め適切な対応を図ってまいります。

次に、**最近の市政の主な動き**についてであります。

はじめに、**セーフコミュニティ認証取得事業**については、去る11月9日から10日にかけての現地審査を受け、海外の審査員から本市の取り組みに高い評価をいただき、認証センターによる世界の良好な事例集（good example）に本市の活動を登録し、世界中に発信するとの表明がありました。その後、11月20日付けで正式な内定通知をいただいたところであります。

今後は、来年2月に認証式を開催し、世界セーフコミュニティネットワーク参加の合意書に、セーフコミュニティ認証センター及び本市が署名し、正式に認証を取得いたします。

今回の認証内定にあたり、御協力いただいた皆様に心から御礼を申し上げますとともに、今後も、引き続きセーフコミュニティ活動に取り組み、まちづくりの基本活動にしてまいります。

次に、EUの都市と各国の都市が連携して課題解決に取り組む**EU国際都市間協力プロジェクト**については、去る11月6日、エッセン市と本市によるプロジェクトが採択されたことから、11月8日から13日にかけて、EU本部があるベルギー王国ブリュッセルで開催された、全世界の採択都市が一堂に

会する会議に、本市職員1名を派遣し、積極的に本市の情報発信を行ってまいりました。

今後は、本日、締結予定のエッセン市との産業分野に関する覚書に基づき、市議会の皆様をはじめ、関係機関並びに関係団体等の御支援・御指導をいただきながら、市内企業とエッセン市を含むドイツ企業との技術交流、人材育成、販路拡大、外資の誘導を促進するとともに、本市が進めている再生可能エネルギー及び医療機器関連産業の集積・育成を推進してまいります。

次に、「**(仮称)郡山市まちづくり基本指針**」の策定については、先の9月定例会閉会後に開催した議員説明会における御意見等を踏まえ、去る**10月10日**に、「**(仮称)郡山市まちづくり基本指針審議会**」へ素案を諮問し、**今月5日**に答申をいただくこととなっております。

今後も引き続き、市民協働のもと、市民の皆様の「想い」や「願い」と、予見可能性の高い課題を調和し、市民・事業者が総活躍できる課題解決先進都市実現のため、来年4月のスタートを目指し策定を進めてまいります。

次に、**連携中枢都市圏の形成**については、去る**11月22日**に、圏域の市町村長及び議員の皆様、経済団体や金融機関などから約**300名**の参加をいただき、「**広域連携セミナー**」を開催し、先進事例を学ぶとともに、セミナーに引き続き、**15市町村長**で構成する「**連携推進協議会**」を設置し、圏域名を「**郡山連携中枢都市圏**」と定めるなど、都市圏形成に向け、大きく踏み出したところであります。

今後は関係市町村との連携をさらに強化し、圏域全体の発展が本市の発展につながるとの考えのもと、圏域人口**59万人**を有する「**郡山連携中枢都市圏**」の未来を見据え、引き続き広域連携の推進を図ってまいります。

次に、**ベトナムへの「郡山産梨」の初輸出**については、今年1月にベトナムの日本産梨に対する植物検疫規制が撤廃され、輸出規制が解除されたことに伴い、**10月下旬**に「**郡山産二十世紀梨**」約**7トン**が輸出されました。現地のイオンベトナム**60店舗**で販売され、「**日本からの黄金の果実**」として好評を博したと伺っております。なお、EUにおいても本日から県産米に関する輸

出規制が解除されることとなりました。本市としては、県や関係機関と連携し販路拡大に努めてまいります。

次に、**本市の音楽関係団体の活躍**については、本年も目覚ましいものがありました。

小・中学校では、合唱の各種コンクール全国大会へ、朝日が丘小学校、郡山第二中学校、郡山第五中学校が出場し、また、合奏の各種コンクール全国大会へ、金透小学校、郡山第二中学校、郡山第三中学校、郡山第五中学校が出場し、顕著な成果を収められました。高等学校においては、合唱では安積黎明高等学校、郡山高等学校が、器楽では郡山商業高等学校、安積黎明高等学校が、また、マーチングでは帝京安積高等学校が全国大会で優秀な成績を収められました。

これらの結果は、日頃のたゆまぬ御努力の賜物であり、児童生徒の皆様と、音楽活動を支えてこられた教職員、保護者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

また、去る11月26日には、ホストタウンの相手国であるオランダ王国が誇る「ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団」の首席奏者たちによる、小学生から大学生へのワークショップやコンサートを開催し、音楽都市こおりやまの未来を担う青少年が、一流の音楽に触れる機会を得られました。今後におきましても、子ども達に優れた演奏家に学ぶ機会を設けてまいります。

次に、**本市のスポーツ関係団体の活躍**についてであります。高等学校の各種競技県大会においては、バスケットボールで郡山商業高等学校、サッカーで尚志高等学校、また、ラグビーで郡山北工業高等学校、さらにはバレーボールで郡山女子大学附属高等学校がそれぞれ優勝を飾り、これから開催される全国大会へ出場されることとなりました。

今後、選手、関係者の皆様を激励する機会を設けることといたします。

続きまして、**当面する市政の課題及び提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、「**被ばく防護対策**」についてであります。

一般住宅等からの除去土壌の搬出（掘り起し）業務については、平成28年度発注の9箇所の工区について、今月末までの作業完了を予定しているところであり、また、先月7日に入札を執行した久留米・字賀庄・亀田・朝日・桑野・台新・神明町・西ノ内・安積町成田・日和田町高倉地区の10工区については、今月から作業に着手し、来年9月の完了を目指してまいります。

また、小・中学校の除去土壌の搬出（掘り起し）業務については、第3ブロック16校の入札を今月15日に予定しており、その後速やかに業務を遂行していくことにより、今年度予定していた42校全てについて完了する見通しがあります。

次に、道路除染については、既に作業を完了しておりますが、未除染の道路側溝については、未除染道路等側溝堆積物撤去・処理事業（福島再生加速化交付金事業）において、一部地域から順次、堆積物の撤去作業に着手しております。

次に、ため池除染については、市街地にある酒蓋池、荒池、芳賀池、土布池1号、土布池2号の5箇所の池底土壌等の除去作業について、年内の作業完了を目指し、順調に作業を進めております。

次に、内部被ばく検査については、平成29年10月末までに延べ16万6,534人の検査を実施し、その結果は、生涯に受ける放射線量が全員1ミリシーベルト未満でありました。

今後も引き続き検査を実施し、市民の健康管理に努めてまいります。

次に、「**定住・交流人口の増加（ひとの流れ）**」についてであります。

熱海多目的交流施設については、住民の利便性向上と磐梯熱海駅前の賑わいの創出を図るため、熱海行政センターを中心とする公共施設と磐梯熱海観光物産館が一体となった複合施設として、平成30年5月のオープンに向け整備を進めており、これらの施設の管理・運営に必要な備品の整備等に要する予算を計上しております。

なお、磐梯熱海観光物産館については、今回、施設の管理運営を行う指定管理者の指定に関する議案を併せて提出しております。

次に、「**安全・安心なまちづくり（時代に合った地域づくり）**」についてで

あります。

「ゼロ市債」の導入については、工事の入札、契約締結を年度内に行い、来年度当初から着工することにより、工事の閑散期の解消及び事務の平準化を図るものであり、道路維持管理事業及び水路側溝整備事業について、債務負担行為を計上しております。

次に、「**教育環境の充実**」についてであります。

西田学園スクールバス運行事業については、来年4月の西田学園義務教育学校の開校に伴う西田地区5小学校の統廃合により、通学距離が長くなる児童生徒の登下校時の安全・安心の確保と負担軽減を図るため、スクールバス運行業務委託料に係る債務負担行為を計上しております。

次に、準要保護児童生徒への小・中学校就学奨励援助については、国の制度改正に合わせて、ランドセルや制服代等の新入学児童生徒学用品費の単価を増額するための予算を計上しております。

また、これまで入学後に支給していた新入学児童生徒学用品費については、保護者が不安なく準備を進められるよう、平成30年度入学予定者の保護者で希望する方に対し、入学前の3月までに支給するための予算を計上しております。

この結果、一般会計補正予算額は、3億2,499万3千円の増額となり、累計では、1,336億3,477万7千円、前年度同期に比較し、17.8パーセントの減となります。

次に、**特別会計補正予算議案**についてであります。国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など、14特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、1億1,582万2千円の減額となり、累計では、1,001億8,417万7千円、前年度同期に比較し、0.1パーセントの減となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正額の合計額は、2億917万1千円の増額となり、累計額は、2,338億1,895万4千円で、前年度同期に比較し、11.0

パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**についてありますが、「**郡山市個人情報保護条例及び郡山市情報公開条例の一部を改正する条例**」など条例議案5件、「**郡山市磐梯熱海観光物産館の指定管理者の指定について**」などその他の議案2件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます、提案理由といたします。

なお、本会期中に給与関連議案及び人事案件を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上